



2025年2月13日

各 位

会社名 株式会社カクヤスグループ
代表者名 代表取締役社長 前垣内 洋行
(コード番号：7686 東証スタンダード)
問合せ先 事業構造改革担当執行役員 山本 洋敬
(TEL：03-5959-3088)

グループ事業構造改革の実施に関するお知らせ

当社は、本日開催した取締役会において、当社グループの今後の成長と将来の収益力の向上を図るため、これまでの酒類販売事業を主体とした事業構造から、「物流」を軸としてさまざまな商品の受注・配達・請求決済までの一連のサービスをお客様に提供する販売プラットフォーム企業に変容するグループ事業構造改革を実施することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. グループ事業構造改革の背景

当社グループは、お客様のご要望に「なんでも」応えたいという想いの下、お客様の利便性を重視した酒類等のお届けサービスを提供しております。現在、「なんでも酒やカクヤス」の旗艦ブランドを中心に、首都圏、大阪、九州に事業を展開し、250を超える拠点から飲食店向けと家庭向けに酒類等の自社配達を行っております。当社グループの強みは、お客様のご要望に木目細かく対応できる物流体制を保持していることにあり、今後もその強みを伸ばしていく考えです。

一方、当社グループが今後も成長と収益力の向上を果たしていくためには、事業領域を酒類販売以外に拡張することが不可欠です。そこで、当社グループの強みである「物流」を軸に、受注から配達、請求決済まで一貫したサービスを提供することにより、お客様の販売プラットフォームになることを実現してまいります。そして、この販売プラットフォームに、当社グループのみならず、当社グループ以外の商品販売会社の商品を取り扱うことで商品やサービスの拡充を行ってまいります。

2. グループ事業構造改革で実現する販売プラットフォーム事業について

(1) グループ各社の役割の再設定

上記1記載の背景をもとに、当社グループがお客様の販売プラットフォームになることを実現するため、当社は管理機能やM&Aを含めたグループ全体の戦略を進める役割を担い、株式会社カクヤス（以下、「カクヤス」といいます。）は酒類販売、明和物産株式会社（以下、「明和物産」といいます。）が酒類以外の商品販売、株式会社大和急送（以下、「大和急送」といいます。）が物流機能、という役割を基本的に担います。

(2) 物流機能の多様化

これまでの自社が販売する商品を自社で配達する自家配達体制に加え、他社が販売する商品を当社グループで配達する他人物配達機能（貨物自動車運送業）を活用し、お客様に対する配達の機能を強化します。2024年8月に当社グループ入りした大和急送を当社グループの物流体制の基幹法人に位置付け、お客様へのお届けを行ってまいります。物流機能多様化の第一段階として、本日公表させていただきました「グループ事業構造改革に伴う連結子会社間の会社分割（簡易吸収分割）に関するお知らせ」に記載のとおり、東京都大田区平和島の約4,800坪の物流センターからカクヤスの各拠点への社内物流をカクヤスから大和急送に切り替えます。他人物配達機能を具備することでさまざまな商品を、お客様の需要、必要頻度に応じてお届けすることが可能になります。

(3) 取扱い商品の充実

従来から取り組んでおります酒類以外の商品を充実させるために、まずは明和物産を当社グループの既存顧客への商品拡大を担う軸とし、飲食店や一般消費者向けの商品戦略を進めます。グループ全体では、飲食店向け、法人向け、一般消費者向け全てのお客様に対し、販売プラットフォーム企業としてサービスを提供することを前提に、取扱い商品を拡充してまいります。また、新規商材の取扱い強化のための M&A にも積極的に取り組んでまいります。

3. 今後の見通し

今回のグループ事業構造改革に伴い一過性の費用がある程度発生しますが、現在公表している通期業績見通しの数値を変更するほどの影響は生じない見込みです。一方、グループ事業構造改革の取り組みによる収益化については来期以降の業績予想数値及び経営成績に影響してまいりますので、見込み数値につきましてはできるだけ早期に公表できるように努めてまいります。

以 上